

南あわじで4月発見

名前【 】

銅鐸の中に「舌」全国初

CTで判明 使用時のまま埋納か

南あわじ市で出土した弥生時代前期末～中期前半(紀元前3～前2世紀)の「松帆銅鐸」7個のうち、大型に小型をほめ込んだ「入れ子」状態にある2組4個から、音を鳴らす振り子「舌」4本が見つかった、と兵庫県教育委員会などが26日、発表した。奈良文化財研究所(奈良市)でのコンピュータ断層撮影(CT)スキャンで判明。舌を銅鐸内に収めた状態が初めて分かった。謎が多い銅鐸の使い方などを解明する極めて貴重な資料になる。

(31面に関連記事)

① 南あわじ市で出土した弥生時代前期末～中期前半(紀元前3～前2世紀)の「松帆銅鐸」7個のうち、何が見つかったと兵庫県教育委員会などが発表したのですか？40字程度で答えなさい。

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |

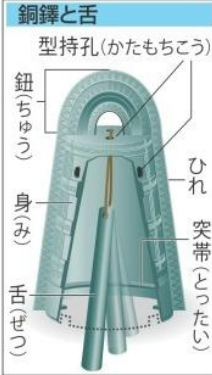
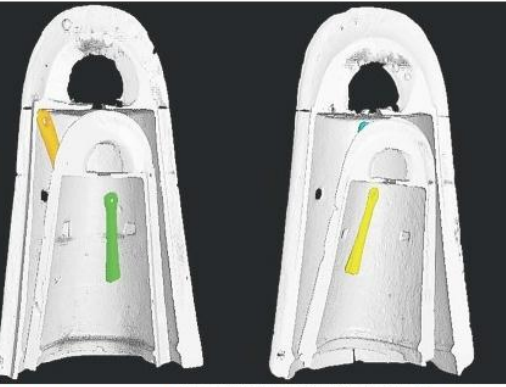
② 今回の発見で、どんなことがわかるのですか？

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |

③ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |

NIEワークシート／小学校高学年～高校



① コンピューター断層撮影による銅鐸2組の3次元画像。入れ子の外側と内側の銅鐸内に棒状の舌(彩色部分)がある(奈良文化財研究所提供)
② コンピューター断層撮影を行った2組の銅鐸(撮影・中西幸大)

「舌をひもでも取り付けた使用状態のまま、入れ子にして埋めた可能性が高い」と推測する。舌は青銅製とみられ、打ち鳴らしたときに音を

「舌をひもでも取り付けた使用状態のまま、入れ子にして埋めた可能性が高い」と推測する。舌は青銅製とみられ、打ち鳴らしたときに音を

「舌をひもでも取り付けた使用状態のまま、入れ子にして埋めた可能性が高い」と推測する。舌は青銅製とみられ、打ち鳴らしたときに音を

松帆銅鐸は、今年4月に玉砂利製造販売会社の加工場や砂置き場で発見され、内部に砂が詰まったまま回収した。既に発見された舌3本を合わせ、7個全てに舌があったことになる。

松帆銅鐸は、今年4月に玉砂利製造販売会社の加工場や砂置き場で発見され、内部に砂が詰まったまま回収した。既に発見された舌3本を合わせ、7個全てに舌があったことになる。

松帆銅鐸は、今年4月に玉砂利製造販売会社の加工場や砂置き場で発見され、内部に砂が詰まったまま回収した。既に発見された舌3本を合わせ、7個全てに舌があったことになる。



今後、砂を取り出し、詳しく調べる。これまで銅鐸は全国で500個以上出土しているが、舌の出土数はその1割にも満たない。うち銅鐸とセットで出土したのは、鳥取

今後、砂を取り出し、詳しく調べる。これまで銅鐸は全国で500個以上出土しているが、舌の出土数はその1割にも満たない。うち銅鐸とセットで出土したのは、鳥取